

がんばったぞ 震災ボランティア

丸太や悪臭とたたかった田んぼグループ。被災した子供たちに笑顔を取り戻した昔遊びグループ。大津波で壊滅的な被害を受けた南三陸町地域で、5日間にわたって活動してきたKSC支援チームは、現地では何を感じ、何を見てきたのか。その体験を今後の支援にどう生かしたらいいのか。6人の参加者に、ざっくばらんに話し合ってもらいました。

(下の写真は迫児童館での公演)

出席者

小澤輝彦 (生13)

内村ナナ子 (国18)

大澤貞男 (生13)

内田たみ子 (福10)

古後健一 (健18)

司会 道満俊徳(わ本部)

座談会



話し合う古後・内村・大澤・
内田・道満・小澤の各氏
(左から時計回り)

東北行きの念願かなった

東北支援、お疲れさまでした。まず率直な感想から聞かせてください。

内村 娘に、お母さん頑張ってきたね、ってほめられちゃった。次回もぜひ、参加したい。

小澤 阪神大震災でお世話になったので、恩返しをと思っていた。ただ、田んぼでの作業時間がちょっと少なかったかな。自炊生活も覚悟してテントや食料、コンロも持参したが、ビジネスホテルに泊まれて良かった(一同うなづく)。

内田 阪神の経験から、映像だけでは実相がわからない。ぜひ現場を見てみたかった。現場の大変さがわかったし、何よりチームの絆ができて良かった。

古後 東北行きの念願がかなって嬉しい。子供たちと楽しい時間を過ごすことができた。神戸と東北の交流は、ぜひ続けたいですね。

大澤 どんな遊びが喜ばれるのか、行く前は不安だったが、また行きたいという気持ちに変わった。

田んぼ作業も経験したかったなあ。

昔遊びで子供たちに笑顔

昔遊びの内容、子供たちの反応は？

古後 昔遊びのプログラムは、短時間に圧縮したけど中身は濃かったし、本当に喜んでくれた。神戸の子供たちのメッセージを届けることもできた。今後は神戸と東北の子供たちの橋渡しができれば、と思っている。

内田 昔遊びに接することが初めての子ばかりで、初めは表情も硬かった。慣れてくると、神戸と同じような笑顔や反応もでてきた。あちらには、子供相手のボランティア団体そのものがないようですね。

大澤 内田さんが、「ありがとう」「こんにちは」という挨拶をみんなにさせていた。これは良かった。指導員も先生も真剣に見ていたね。

丸太や豊運び頑張った

田んぼはガレキ運びでした。先方(岩淵代表)も「重いものはいいですよ」と言う態度で、それほど我々に期待をかけていなかったようだ。でも、次々と丸太まで片付けたので、びっくり。初日を終える頃には握手を求められ、態度が一変していた。みんなが頑張ったお陰です。

小澤 ボート、丸太、豊など大物ばかりで手間がか



かった。小物を拾うことまでできなかったのは残念。

「事前にどんな作業をするのか、わかっていたらなあ」と思った。

内村 田んぼに入ったのは初めてでした。ガレキも臭いもすごかったが、アルバムや給食のバケツ、帯や服も出てきて「ああ生活があったんだな...」と。見るのがつらかったです。